

令和7年度生徒・保護者アンケートの結果

菊川市立菊川東中学校

保護者の皆様には、お忙しい中、学校アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。生徒のアンケート(12月第4ステージ終了時)と合わせて結果をお知らせします。

※ 回答の割合は、生徒、保護者ともに、各質問に「よく当てはまる」「やや当てはまる」の割合を示しています。

1 生徒アンケート結果 (第4ステージ終了時、最新のステージアンケート結果)

問	質問内容	R6	R7	(目標)
1	学校が楽しい。	91%	60.2% 94.6%	63%
2	みんなで何かをするのは楽しい。	96%	97.9%	90%
3	授業に主体的に取り組んでいる。	93%	91.0%	90%
4	授業がよく分かる。	87%	34.3% 88.0%	60%
5	時と場を考えた挨拶や言葉遣いをすることができた。	94%	96.8%	
6	「躍動チャレンジ」に向けて学習した。	72%	70.3%	
7	仲間や学級のために進んで行動することができた。	88%	87.1%	
8	学校に、信頼することのできる先生がいる。	89%	91.9%	93%
9	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	67%	66.9%	
10	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	89%	89.5%	
11	授業中に自分で調べる場面で、ICT機器をどの程度活用したか。	97%	86.7%	
12	学級の友達と意見交換する場面で、ICT機器をどの程度活用したか。	88%	62.3%	
13	自分の考えをまとめ発表する場面で、ICT機器をどの程度活用したか。	76%	46.4%	
14	【R7】よいところもそうじゃないところも含めて、「自分らしいな」と思う 【R6】わたしには、よいところがある。	89%	88.9%	
15	わたしは、だれか(クラスの人や家の人)の役に立っている。	88%	85.3%	
16	「自ら気づき 行動する」ことができた。	79%	88.2%	93%
17	今後の自分に期待している		76.0%	93%

○「学校が楽しい」・「みんなで何かをするのは楽しい」・「授業に主体的に取り組んでいる」 ・「授業がよくわかる」について

本校では、目指す学校として「行きたい(行かせたい)学校 No.1」を掲げ、本年度も教育活動を行っております。子どもたちが、行きたいと思える学校には、子ども自身が、「学校が楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」といった項目に対して肯定的に回答できる『安心・安全な生活の基盤づくり』と『主体的に学びに向かう、学びの基盤づくり』が重要であると考えております。本年度におきましては、そのうち3つの項目において、昨年度を上回る肯定的な回答が見られました。

一方、「授業がよくわかる」の項目においては、肯定的な回答(よく当てはまる、当てはまる)の割合において高い数値が見られたものの、「よく当てはまる」の強肯定の割合においては、34.3%にとどまりました。本校におきましては、肯定的な意見の割合でまとめた結果だけに目を向けず、「授業がよくわかる」と自信を持って回答できる生徒を増やしていけるよう、一層の授業改善に取り組んで参ります。

2 保護者アンケート結果

問	質問内容	R6	R7
1	学校が楽しい	91%	89.5%
2	みんなで何かをするのは楽しい	91%	92.9%
3	授業に主体的に取り組んでいる	81%	83.9%
4	授業がよくわかる	66%	71.7%
5	学校に信頼することができる教員がいる	86%	87.8%
6	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	49%	45.4%
7	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	75%	74.8%
8	生徒は「わたしには、よいところがある」と感じている。	88%	85.4%
9	自分から家庭学習に取り組んでいる	63%	62.1%
10	あいさつを自分から元気に行っている	73%	77.3%
11	学校は教育方針、生徒・学校の様子を保護者にわかりやすく伝えている	88%	84.8%
12	教員は生徒の心配や悩みに気づき、積極的に相談に応じている	82%	83.9%
13	教員は分かりやすい授業になるように努力している	81%	82.9%
14	教員は、生徒の良い取組を見取り、称揚している	88%	86.3%

(1) 自由記述：菊川東中学校「生徒の良い点」アンケート結果分析より

- 「元気な挨拶」：知らない人に対しても自ら挨拶ができる。
- 「素直」：素朴で、物事に真っ直ぐ取り組む姿勢が見られる。
- 「一生懸命(本気)」：行事に対して恥ずかしがらずに熱くなれる。
- 「仲の良さ」：男女や学年を問わず、支え合い協力できる関係性がある。
- 「礼節」：止まってくれた車へのお辞儀など、公共の場での礼儀で前向きな姿がある。

挨拶の習慣があることや素直さ、行事への一生懸命さは、本校の生徒の魅力です。今後も、これらの良い伝統を大切にしながら、さらに生徒一人ひとりの個性を伸ばしていきたいと思えます。

また、生徒一人ひとりの個性を伸ばしていくためには、安心して学べる環境づくりが重要であると考えております。生活や学びの場面において、職員からの日常的な声かけや相談機会の設定など、生徒一人ひとりに寄り添い、支える生徒指導を大切にして取り組んでまいります。

(2) 自由記述：菊川東中学校「生徒の改善点」アンケート結果分析より

- 「身だしなみと服装」：制服の着こなしの乱れが見られる。
- 「交通マナー」：並列走行、ヘルメットの未着用、歩道を歩かない等の危険行為が見られる。
- 「規範意識(ルール)の低さ」：校則(東中ハンドブック)の内容を十分に理解せず、行動している。
- 「対人関係の不安」：言葉遣いが荒い場面が見られ、いじめや差別等につながらないか心配。
- 「学習への意欲の低さ」：学習の重要性が理解できておらず、学びに主体的でない。

身だしなみと服装、交通マナー、規律意識などの「社会性」については、社会のルールと照らし合わせたり、校則である東中ハンドブック等を活用したりすることで、誰もが安心して過ごすことのできる学校を創る「自ら考え→行動できる」生徒を育てられるよう、意義や必要性について、生徒と共通理解する場を設けてまいります。

また、これら社会性につきましても、学校内のみならず、家庭や地域の皆様に御協力いただくことで、より一層の成長が期待できます。生徒が地域の一員として社会性を身につけられるよう、地域の中で生徒が活躍する機会を大切にしていきたいと思えます。

さらには、学習意欲の向上について、生徒一人ひとりの学びの状況を把握し、生徒のつまづきに寄り添いつつ、自らの学びを調整できるよう、学習環境を整えることや学習意欲を高める教材の工夫に取り組んでまいります。